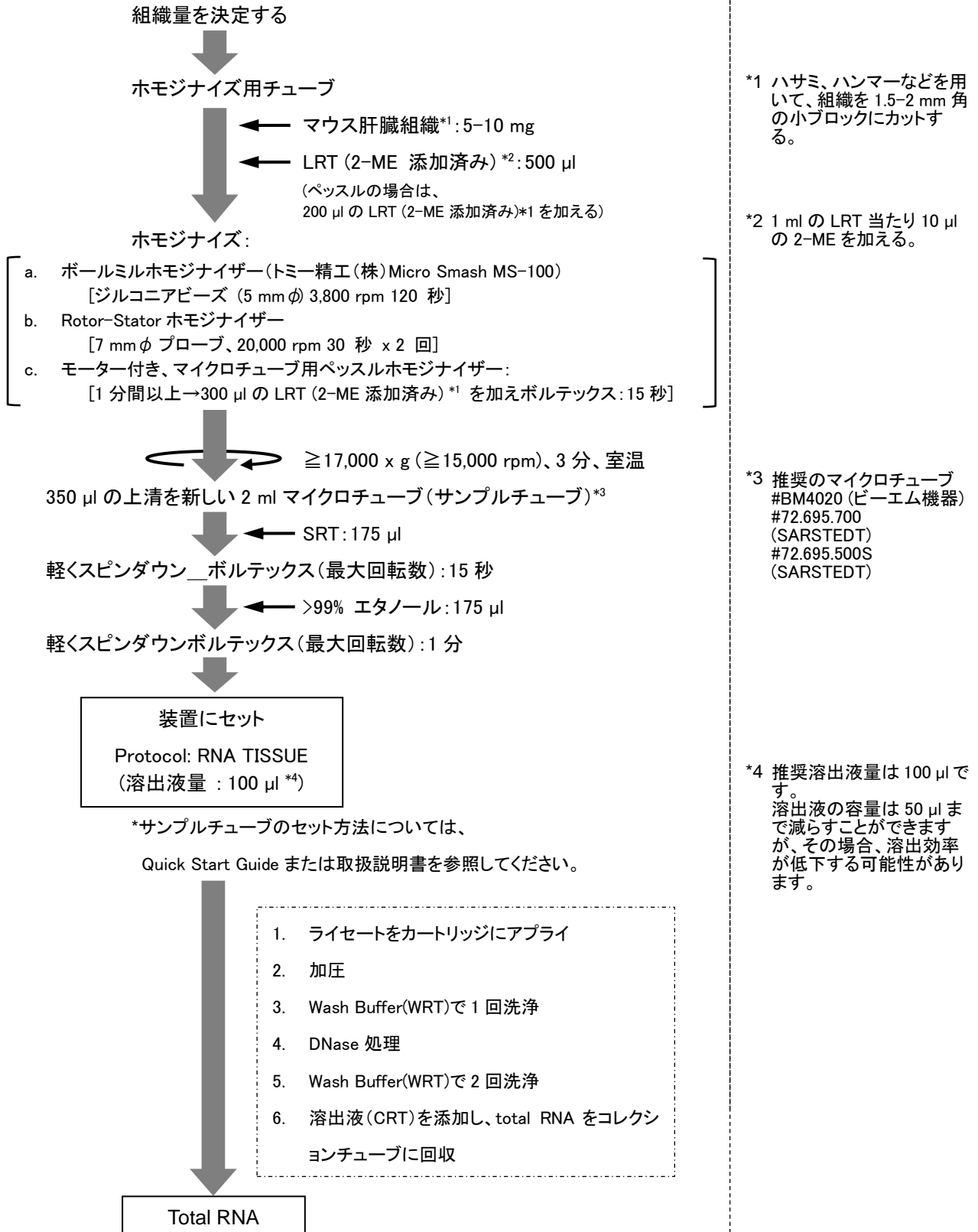


RA-b-23

自動処理_マウス肝臓からの total RNA 分離

プロトコル (5-10 mg)



*1 ハサミ、ハンマーなどを用いて、組織を 1.5-2 mm 角の小ブロックにカットする。

*2 1 ml の LRT 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

*3 推奨のマイクロチューブ #BM4020 (ビーエム機器) #72.695.700 (SARSTEDT) #72.695.500S (SARSTEDT)

*4 推奨溶出液量は 100 µl です。溶出液の容量は 50 µl まで減らすことができますが、その場合、溶出効率が低下する可能性があります。

サンプルの種類・保存条件などによっては分離できない場合があります。
データに関しては保証していません。
分離した核酸には目的以外の核酸(例: DNA 分離には RNA)が含まれています。

結果

マウス肝臓 7 mg 相当から QuickGene-Auto12S を使用して total RNA を分離しました。

Total RNA の収量

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	平均	S.D.
収量 (μg)	35.0	29.8	29.9	28.1	30.7	3.01

タンパク質の混入：A260/280 /カオトロピック塩の混入：A260/230

サンプル ID	#1	#2	#3	#4	平均
A260/280	2.36	2.32	2.33	2.30	2.33
A260/230	2.15	1.90	2.16	2.05	2.07

共通プロトコルサンプル

マウス精巢、マウス肝臓、マウス脳、マウス肺、マウス脾臓